

Cisco Start Wireless

Cisco Aironet 1700 自律モード クイックスタートアップガイド

2016 年 2 月 18 日

第 1.0 版



www.networld.co.jp

株式会社ネットワールド



Networld



Cisco Start Wireless

Cisco Aironet 1700 自律モード クイックスタートアップガイド



改訂履歴

版番号	改訂日	改訂者	改訂内容
1.0	2016 年 2 月 18 日	ネットワールド	● 新規
			●
			●
			●



免責事項

- 本書のご利用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。本書に記載する情報については、株式会社ネットワーク（以下 弊社）が慎重に作成および管理いたしますが、弊社がすべての情報の正確性および完全性を保証するものではありません。
- 弊社は、お客様が本書からご入手された情報により発生したあらゆる損害に関して、一切の責任を負いません。また、本書および本書にリンクが設定されている他の情報元から取得された各種情報のご利用によって生じたあらゆる損害に関しても、一切の責任を負いません。
- 弊社は、本書に記載する内容の全部または一部を、お客様への事前の告知なしに変更または廃止する場合がございます。なお、弊社が本書を更新することをお約束するものではありません。



表記規則

表記	表記の意味
「」 (括弧記号)	キー、テキストボックス、ラジオボタンなどのオブジェクト
bold (ボールド文字)	入力または選択するシステム定義値
<i><italic></i> (イタリック文字)	入力または選択するユーザー定義値
□ (囲み線)	入力または選択するオブジェクト
"" (二重引用符記号)	表示されるメッセージ
■ (蛍光マーカー)	確認するメッセージ

表記の例)

(1) 「Exec」ラジオボタンを選択します。

(2) テキストボックスに以下のコマンドを入力します。

copy running-config <file name>

(3) 「コマンドを実行」ボタンをクリックします。正常に実行されれば、画面に「[OK]」が表示されます。

Destination filename [startup-config]?

Building configuration...

[OK]

CLIによる設定

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

1

☒ Exec
 ☐ Configure

2

3

コマンドを実行
 クリア

Destination filename [startup-config]?
 Building configuration...
 [OK]



目次

1. はじめに.....	1
1.1 対象機器.....	1
2. 機器について.....	2
2.1 パッケージの内容.....	2
2.2 機器の概観.....	3
3. システム構成.....	7
3.1 使用した機材.....	7
4. Cisco Aironet 1700 の初期設定.....	10
4.1 自律モードへの切り替え.....	10
4.2 IP アドレス設定(CLI).....	11
4.3 基本情報設定(WEB GUI).....	12
4.4 無線 LAN 基本設定(WEB GUI).....	15
5. Cisco Aironet 1700 設定変更.....	25
5.1 Web ログインパスワードの変更(WEB GUI).....	25
5.2 無線 LAN Pre Shared key の変更.....	26



1. はじめに

本書は Cisco Aironet 1700 を自律モードで使用するにあたって、機器の基本情報および初期設定について記載しています。

集中管理モードでコントローラーから Cisco Aironet 1700 を利用する場合は、本書では解説を行っておりません。

1.1 対象機器

本書を使用して設定ができる製品は、以下のとおりです。

表 1 本書の対象機器

AIR-CAP1702I-Q-K9
<input checked="" type="checkbox"/>



2. 機器について

2.1 パッケージの内容

この節では、製品に同梱されている内容物について説明します。ライセンスを購入、またはバンドル製品を購入した場合は関連書類が追加されますが、ここでは説明は省略します。また、この内容は変更される場合があるため、ご注意下さい。

AIR-CAP1702I-Q-K9 のパッケージには以下が同梱されています。

- Cisco Aironet 1702 本体 (AIR-CAP1702I-Q-K9)
- 薄型ブラケット(AIR-AP-BRACKET-1)
- 天井グリッドクリップ 埋め込み型(AIR-AP-T-RAIL-R)

製品に電源が付属していません。802.3at PoE+給電スイッチ、パワーインジェクタ(AIR-PWRINJ5=)、ローカル電源装置(AIR-PWR-B=)のいずれかから受電する必要があります。



2.2 機器の概観

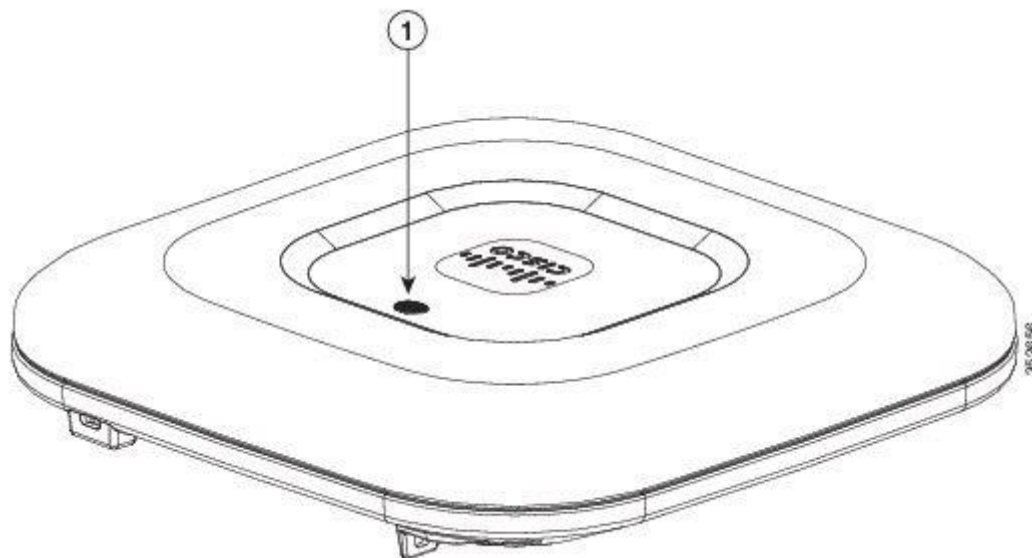


図 1 アクセスポイントの LED インジケータ(上部) – Cisco Aironet 1702i

表 2 LED インジケータについて

① LED インジケータ	<p>機器の状態を以下のように示します。</p> <p>緑点滅(速) : ブート時</p> <p>緑点滅(遅) : 通常動作時(ワイヤレスクライアント未接続)</p> <p>緑点灯 : 通常動作時(ワイヤレスクライアント接続時)</p> <p>オレンジ点滅 : ソフトウェアのアップグレード時</p> <p>緑、赤、オレンジと色が変わる(遅) : 検出/接続プロセス中</p> <p>赤、緑、オレンジと色が変わる(速) : アクセスポイントの位置コマンドの呼び出し</p> <p>赤点滅 : イーサネットリンクが未接続</p> <p>赤点灯 : 障害中</p>
--------------	--

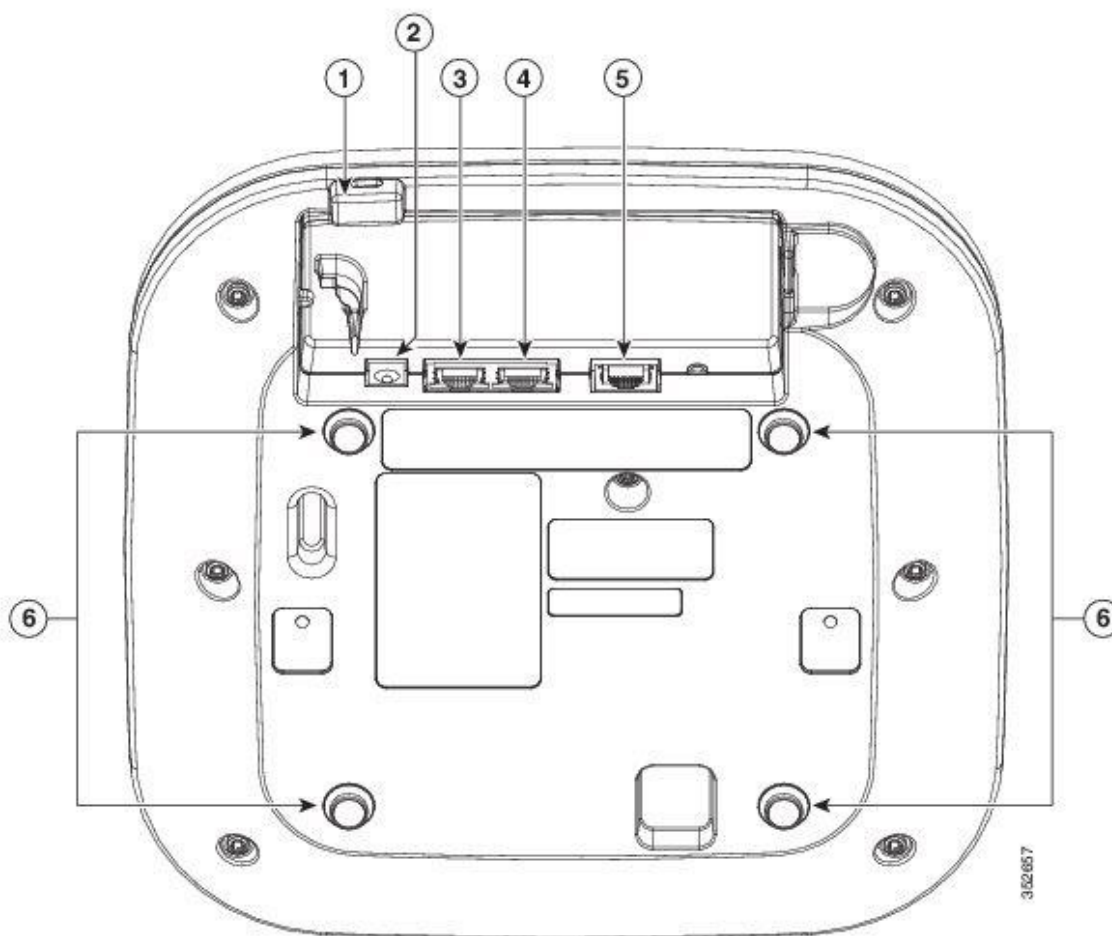


図 2 アクセスポイントのポートと接続(底面) : Cisco Aironet 1702i

表 3 各部位について

①	Kensington ロックスロット
②	DC 電源接続ポート
③	プライマリーイーサネットポート (PoE 受電)
④	補助イーサネットポート
⑤	コンソールポート
⑥	マウントブラケット接続用ピン



2.1 電源接続

この節では、電源の供給方法について説明します。

3通りの電源供給方法が記載していますが、いずれか1つの方法を採用して使用します。

2.1.1 802.3at PoE+対応スイッチ給電

802.3at PoE+規格に準拠したイーサネットスイッチ(Cisco Small Business 300 など)から受電します。

802.3at PoE+対応のイーサネットポートとCisco Aironet 1700のプライマリーイーサネットポートをCategory 5eのLANケーブルで直接接続し、電源を供給します。LANケーブルをつなぐことで電源を入れます。

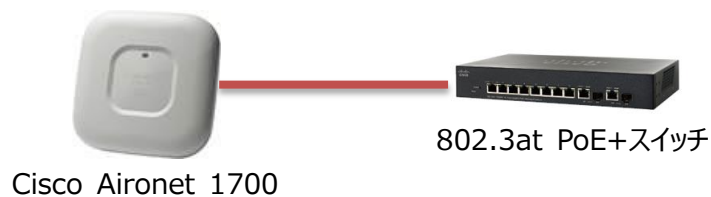


図 3 802.3at PoE+対応スイッチ給電

スイッチで802.3af PoE/802.3at PoE+ PD(受電機器)を複数使用する場合は、給電容量内で全ての装置に十分な給電が可能な構成を使用してください。



2.1.2 パワーインジェクタ給電

Cisco Aironet パワーインジェクタ (AIR-PWRINJ5=)から受電します。

イーサネットスイッチのポートとパワーインジェクタの SWITCH ポートを Category 5e の LAN ケーブルで接続します。パワーインジェクタの AP ポートと Cisco Aironet 1700 のプライマリイーサネットポートを Category 5e の LAN ケーブルで直接接続し、電源を供給します。LAN ケーブルをつなぐことで電源を入れます。

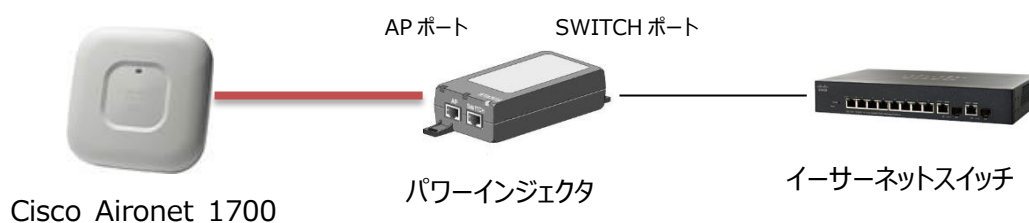


図 4 パワーインジェクタ給電

2.1.3 ローカル電源

ローカル電源装置(AIR-PWR-B=)から受電します。

ローカル電源装置を DC 電源接続ポートに接続して電源を入れます。

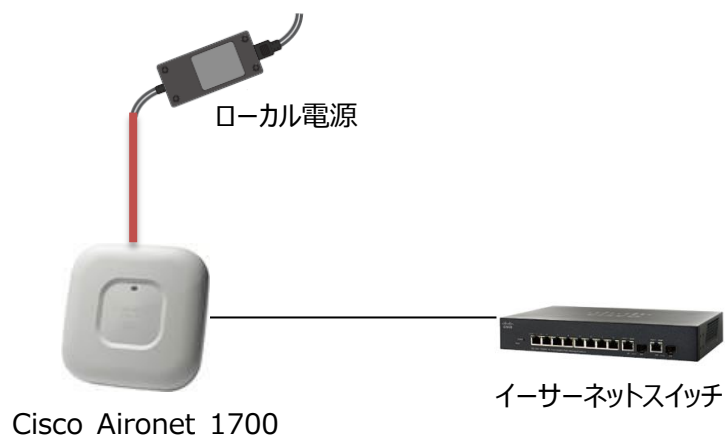
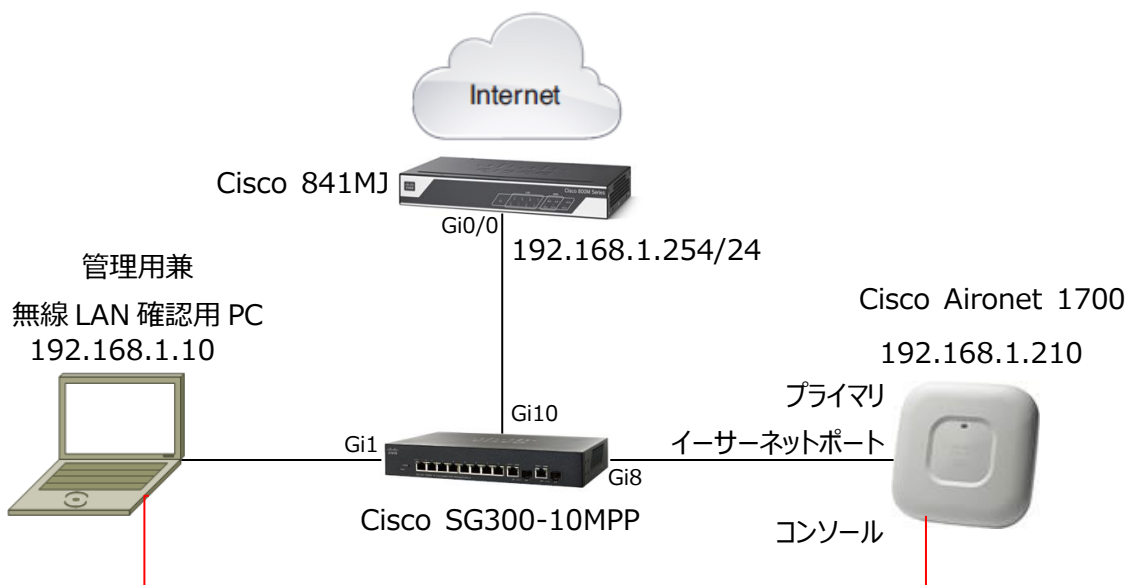


図 5 ローカル電源接続



3. システム構成

本書での初期設定手順は、以下のシステム構成に基づいて行われます。なお、自律モードに切り替えを行う時のみ管理用 PC の IP アドレスを変更します。



3.1 使用した機材

本書で使用した機材は、以下のとおりです。

表 4 本書で使用した機材

機器	製品番号	備考
Cisco Aironet 1700 シリーズ	AIR-CAP1702I-Q-K9	Version: 15.3(3)JC
Cisco SG300-10MPP	SG300-10MPP-K9 V02	Version: 1.4.0.88 デフォルト設定
Cisco 841 MJ	C841M-4X-JAIS/K9	Version: 15.5(3)M インターネット接続設定済み 内部 DHCP サーバ設定済み
管理用兼 無線 LAN 確認用 PC	Windows 7 Pro x64	Web ブラウザ: Internet Explorer 11 TFTP サーバ(tftpd32) ターミナルアプリケーション(Tera Term など)



3.2 本書での設定項目

本書を利用して設定を行う項目は、以下の通りです。

表 5 本書の設定項目と値

設定項目	設定値	備考
ホスト名	ap1700	装置を識別する為の名称です。 任意に変更して使用します。
IPv4 アドレス	192.168.1.201	
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0	
IPv4 ゲートウェイ	(未指定)	
IPv6 設定	(自動取得)	IPv6 Native ネットワークに接続した場合、 IPv6 のアドレスがアサインされます。
WEB GUI ログイン パスワード	(非表示)	Cisco Aironet 1700 の管理画面を表示する パスワードです。
SSID 名	networkdssid	無線 LAN を識別する為のネットワーク名です。 任意の名称に変更します。
無線 LAN セキュリティ	WPA2-CCMP-PSK	無線 LAN を安全に利用していただく為の認証・ 暗号化方式です。
Pre-shared-key	(非表示)	無線 LAN に接続する為のパスワードです。
SSID 名の ブロードキャスト	有効	無線 LAN 端末上に SSID 名を通知します。 無効にすると、端末上の一覧に SSID 名が表示 されません。
2.4GHz 無線	有効	2.4GHz の無線 LAN を有効にします。 IEEE802.11 b/g/n 規格の無線 LAN 端末 からの接続が出来ます。
動作モード	アクセスポイント 有線 LAN 連動	無線 LAN と有線 LAN をブリッジします。有線 LAN ポートがリンクダウンした場合、連動して無 線機能を停止します。
周波数設定	自動	起動時に電波の使用量が少ない周波数を自動 的に選択します



5GHz 無線	有効	5GHz の無線 LAN を有効にします。 IEEE802.11 a/n/ac 規格の無線 LAN 端末から接続が出来ます。
動作モード	アクセスポイント 有線 LAN 連動	無線 LAN と有線 LAN をブリッジします。有線 LAN ポートがリンクダウンした場合、連動して無線機能を停止します。
周波数設定	自動	起動時に電波の使用量が少ない周波数を自動的に選択します



4. Cisco Aironet 1700 の初期設定

本章では、初期状態の Cisco Aironet 1700 から、自律モードで無線 LAN を使用するための基本的な設定について説明します。

4.1 自律モードへの切り替え

この節では、AP を自律モードに切り替える方法について説明します。なお、Cisco Aironet 1700 はコントローラモードで製品出荷されます。本書の通り自律モードで動作させる場合は、初めにこの作業を行ってください。

- (1) PC のネットワーク設定を IP アドレス 10.0.0.2 ネットワークマスク 255.255.255.224 に設定します。
- (2) PC 上で TFTP サーバを起動し、TFTP サーバのフォルダに Cisco Aironet1700 の自律モードのファームウェアを保存します。
- (3) Cisco Aironet1700 の自律モードのファームウェアの名前を ap3g2-k9w7-tar.default に変更します。
- (4) Cisco Aironet1700 のプライマリイーサネットポートと PC の LAN ポートを Catgory5e ケーブルで接続します。
- (5) Cisco Aironet1700 の電源を切ります。
- (6) 背面についている MODE ボタンを押した状態を維持しながら、電源を入れます。
- (7) 約 20～30 秒後に LED が赤色に変化したら、MODE ボタンを離します。
- (8) LED の色が緑色点滅するまで待ちます。この間 Aironet 1700 のファームウェアが自動的に更新され再起動が行われています。
- (9) 緑色に点滅したら、正常に自律モードに切り替わりが終了です。



4.2 IP アドレス設定(CLI)

この節では、Cisco Aironet 1700 の管理用 IP アドレスの設定を行う方法について説明します。
設定はコンソールポートから行います。

(1) enable コマンドを入力して特権モードに切り替えます。パスワードの初期値は Cisco です。

```
ap> enable
```

```
password: Cisco ※ パスワードはコマンドライン上に表示されません。
```

```
ap#
```

(2) configure terminal コマンドを入力して、グローバルコンフィグレーションモードに移行します。

```
ap# configure terminal
```

```
ap(config)#
```

(3) interface BVI1 コマンドを入力して、インターフェースコンフィグレーションモードに移行します。

```
ap(config)# interface BVI1
```

```
ap(config-if)#
```

(4) ip address コマンドを入力して、管理用の IP アドレスを割り当てます。

```
ap(config-if)# ip address 192.168.1.201 255.255.255.0
```

```
ap(config-if)#
```

(5) end コマンドを入力して、特権モードに戻ります。

```
ap(config-if)# end
```

```
ap#
```

(6) copy running-config startup-config コマンドを入力して、設定を保存します。

```
ap# copy running-config startup-config
```

```
Destination filename [startup-config]? ※ Enter キーを押して次に進みます。
```

```
Building configuration...
```

```
[OK]
```

```
ap#
```




4.3 基本情報設定(WEB GUI)

この節では、Cisco Aironet 1700 の基本情報の設定を行う方法について説明します。基本設定項目は、以下の項目になります。

- ホスト名設定
- IPv4 設定
- IPv6 設定
- Web GUI ログインパスワード(CLI の特権モードパスワード)設定
- SNMP 簡易設定

(1) PC で Web ブラウザを起動し、設定するスイッチの AP の IP アドレスを「http://」に続きアドレスバーに入力します。

(2) ユーザー名、パスワードを聞かれるダイアログが表示されたら、パスワードを入力して、「OK」をクリックします。初期値は、ユーザー名が空欄でパスワードは「Cisco」です。



図 7 WEB GUI 認証画面



(3) 左側の Easy Setup を左クリックします。Network Configuration が表示されたら左クリックをして Network Configuration 画面を表示します。



図 8 画面切り替え(Network Configuration)

(4) 各フィールドを入力します。入力が完了したら「Apply」ボタンを押します。

表 6 Network Configuration のフィールド

#	フィールド	説明
①	Host Name:	Aironet1700 のホスト名を指定します。
②	Server Protocol: IP Address: IP Subnet Mask: Default Gateway	Aironet1700 の IPv4 設定を指定します。
③	IPv6 Protocol: IPv6 Address:	Aironet1700 の IPv6 設定を指定します。
④	Change global authentication password	Web GUI にログインする為のパスワードを変更します。default enable secret と confirm enable secret(確認)に同じパスワードを入力します。 本パスワードは、CLI の特権モードに切り替えにも利用します。
⑤	SNMP Community:	SNMP のコミュニティ名を設定します。 設定を変更すると、SNMP が有効に変わります。



Network Configuration
Reboot AP Factory Reset

1 Host Name:

2 Server Protocol: ☐ DHCP ☒ Static IP
IP Address:
IP Subnet Mask:
Default Gateway:

3 IPv6 Protocol: ☒ DHCP ☒ Autoconfig ☐ Static IP
IPv6 Address:

4 Create a user
Username:
Password:

5 Change global authentication password
default enable secret:
confirm enable secret:

SNMP Community:
☒ Read-Only ☐ Read-Write

Current SSID List(Read Only)

< NEW >

図 9 Network Configuration 設定画面

(5) WARNIG メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われます。

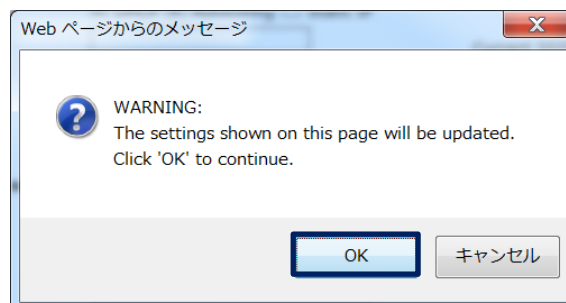


図 10 WARNIG メッセージ

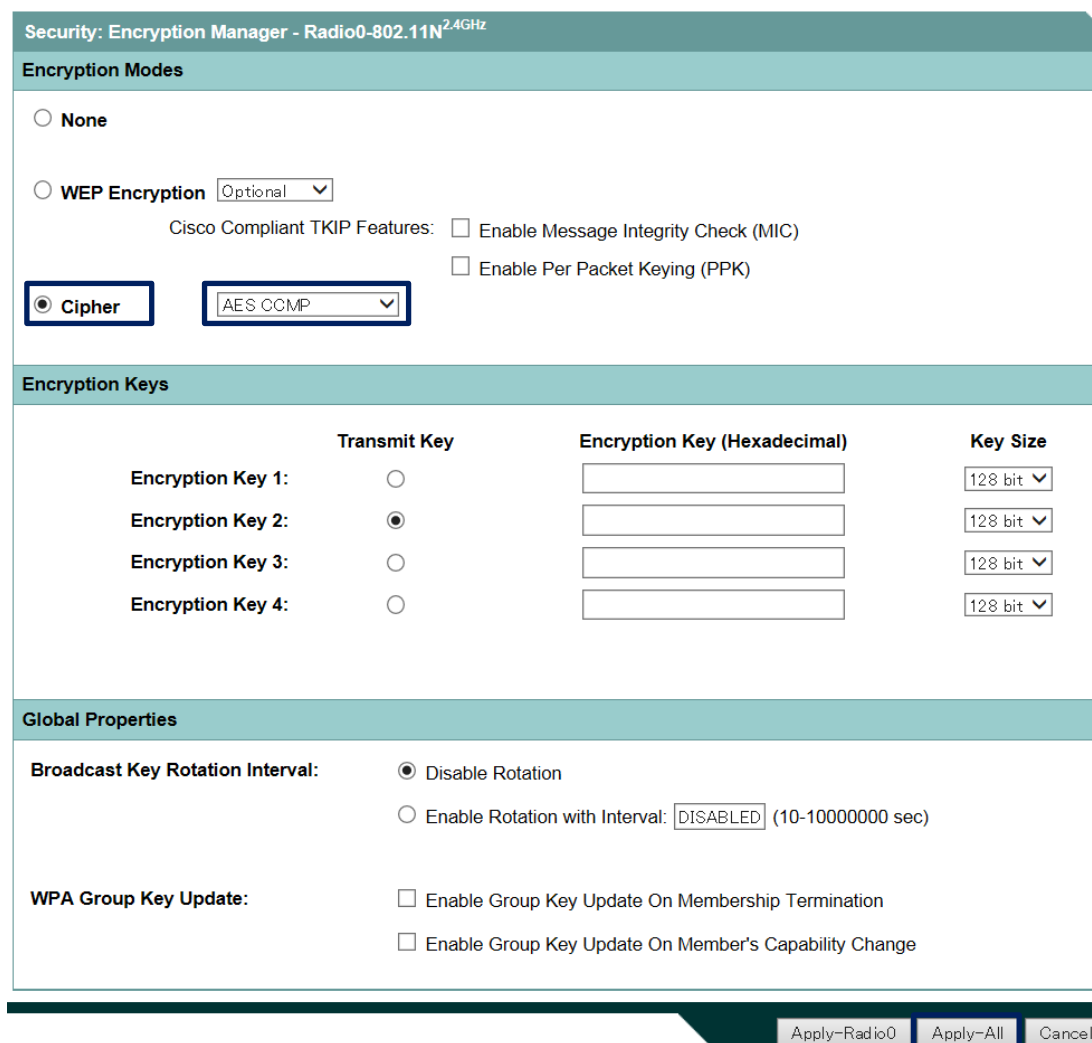


4.4 無線 LAN 基本設定(WEB GUI)

この節では、Cisco Aironet 1700 を利用頻度の高くセキュリティも高い WAP2-CCMP-PSK を利用して無線 LAN を有効にする方法について説明します。

(1) WEB GUI にアクセスして、上部の「SECURITY」左側の「Encryption Manager」の順に左クリックをして画面を推移します。

(2) 「Encryption Modes」の「Cipher」にチェックを入れ、「AES CCMP」に変更します。「Apply-All」を押す。



Security: Encryption Manager - Radio0-802.11N^{2.4GHz}

Encryption Modes

☐ None
☐ WEP Encryption Optional
 Cisco Compliant TKIP Features: ☐ Enable Message Integrity Check (MIC)
☐ Enable Per Packet Keying (PPK)
☒ **Cipher** AES CCMP

Encryption Keys

	Transmit Key	Encryption Key (Hexadecimal)	Key Size
Encryption Key 1:	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	128 bit
Encryption Key 2:	<input checked="" type="radio"/>	<input type="text"/>	128 bit
Encryption Key 3:	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	128 bit
Encryption Key 4:	<input type="radio"/>	<input type="text"/>	128 bit

Global Properties

Broadcast Key Rotation Interval: ☒ Disable Rotation
☐ Enable Rotation with Interval: DISABLED (10-10000000 sec)
WPA Group Key Update: ☐ Enable Group Key Update On Membership Termination
☐ Enable Group Key Update On Member's Capability Change

Apply-Radio0 Apply-All Cancel

図 11 Encryption Modes 設定画面



(3) WARNIG メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われます。

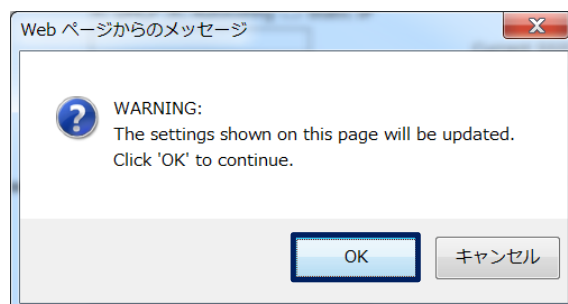


図 12 WARNIG メッセージ

(4) 左側の「SSID Manager」を左クリックして画面を推移します。

(5) 「Current SSID List」に「<NEW>」が選択されていることを確認します。

(6) 「SSID : 」に SSID 名(無線 LAN の名前)を入力します。

(7) 「Radio0-802.11N^{2.4GHz}」と「Radio1-802.11AC^{5GHz}」をチェックします。

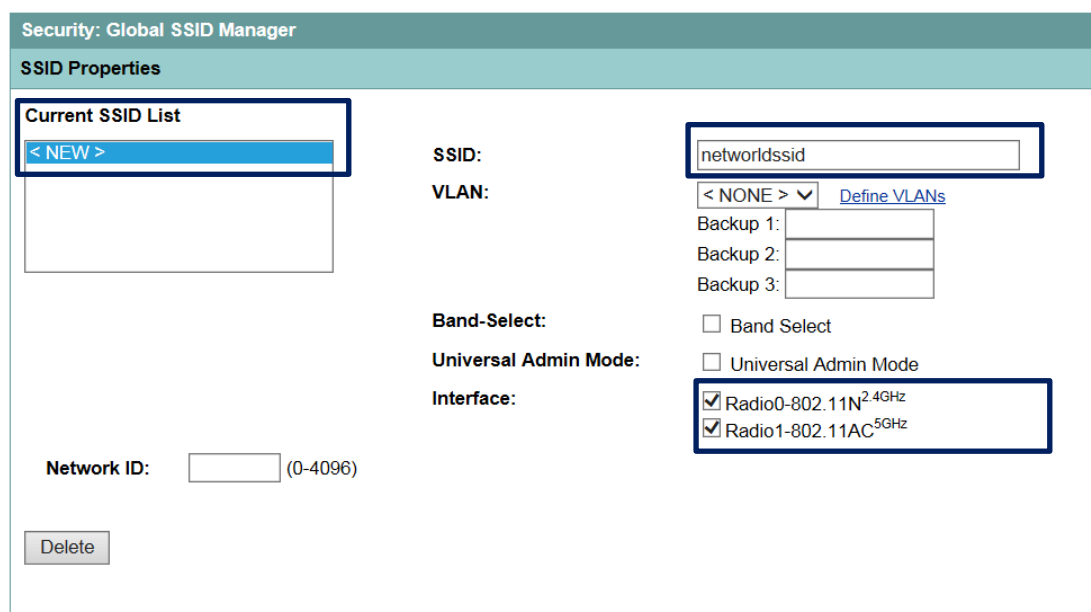


図 13 SSID 設定画面(上部)



(8) 「Client Authenticated Key Management」の「Key Management:」を「Mandatory」を選択します。

(9) 「Enable WPA」をチェックして「WPAv2」を選択します。

(10) 「WPA Pre-shared Key」の ASCII が選択されていることを確認して、8 文字以上 63 文字以下で PSK(無線接続用パスワード)を入力します。

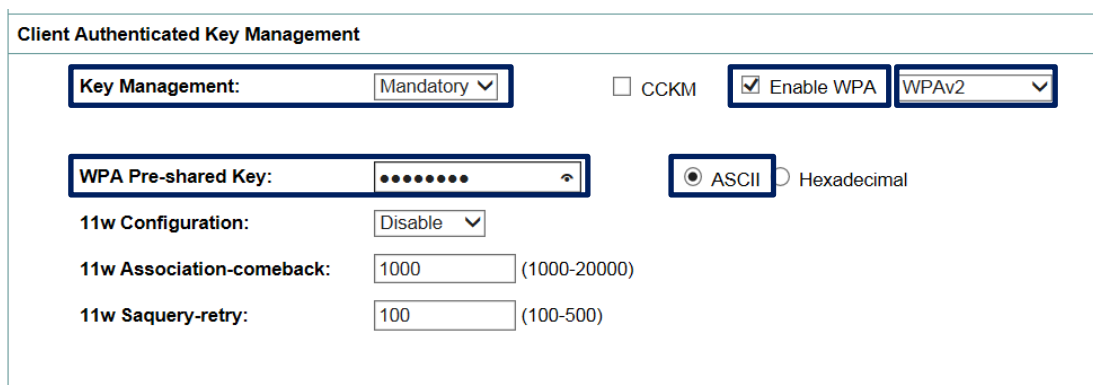


図 14 SSID 設定画面(中)

(11) 「General Settings」の「Advertise Extended Capabilites of this SSID」をチェックして、「Advertise this SSID as a Secondary Broadcast SSID」をチェックします。

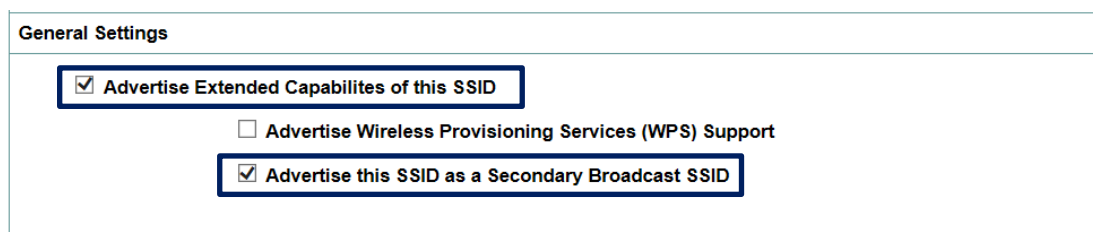


図 15 SSID 設定画面(中)

(12) 「SSID Properties」の「Apply」を押します。

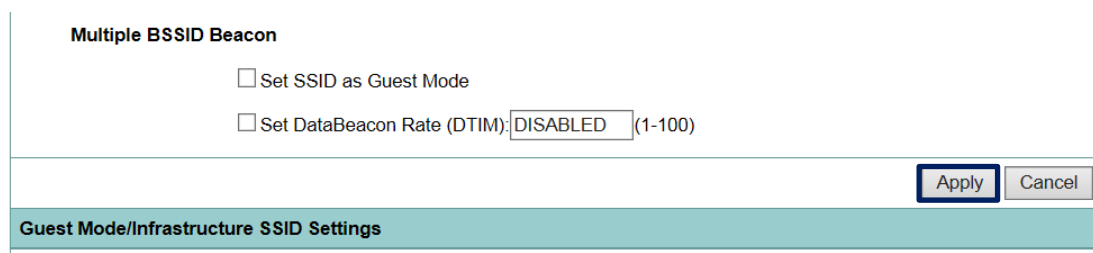


図 16 SSID 設定画面(下部)



(13) WARNIG メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われます。

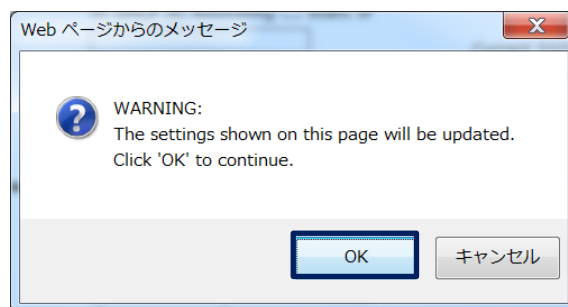


図 17 WARNING メッセージ

(14) 上部の「NETWORK」左側の「NETWORK INTERFACE」「Radio0-802.11N 2.4GHz」の順に左クリックをして画面を推移します。

(15) 「SETTINGS」のタブを左クリックします。

RADIO0-802.11N^{2.4GHz}
STATUS

DETAILED STATUS

SETTINGS

CARRIER BUSY TEST

Hostname ap
ap uptime is 18 minutes

Network Interfaces: Radio0-802.11N^{2.4GHz} Status

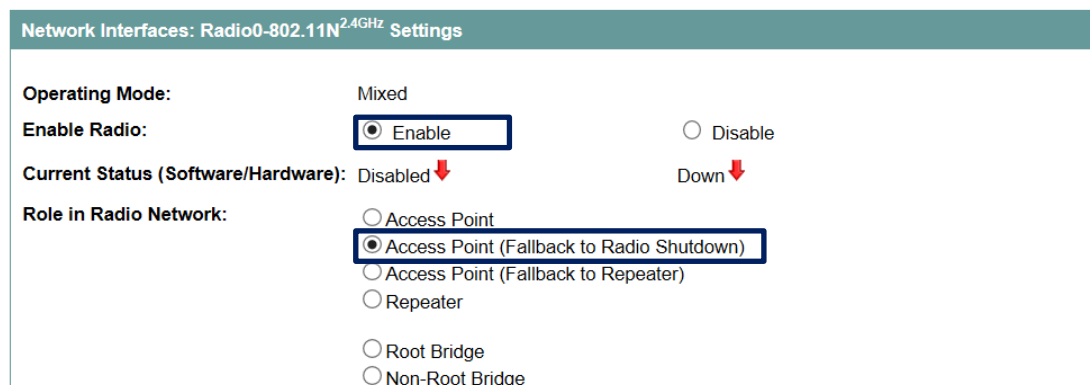
Configuration			
Software Status	Disabled ↓	Hardware Status	Down ↓
Operational Rates	1.0 , 2.0 , 5.5 , 11.0 , 6.0 , 9.0 , 12.0 , 18.0 , 24.0 , 36.0 , 48.0 , 54.0 , m0-2 , m1-2 , m2-2 , m3-2 , m4-2 , m5-2 , m6-2 , m7-2 , m8-2	Basic Rate	1.0 , 2.0 , 5.5 , 11.0 Mb/sec

図 18 2.4GH 設定画面推移



(16) 「Enable Radio :」の「Enable」を選択します。

(17) 「Role in Radio Network:」の「Access Point(Fallback to Radio Shutdown)」を選択します。



Network Interfaces: Radio0-802.11N^{2.4GHz} Settings

Operating Mode: Mixed

Enable Radio: ☒ Enable ☐ Disable

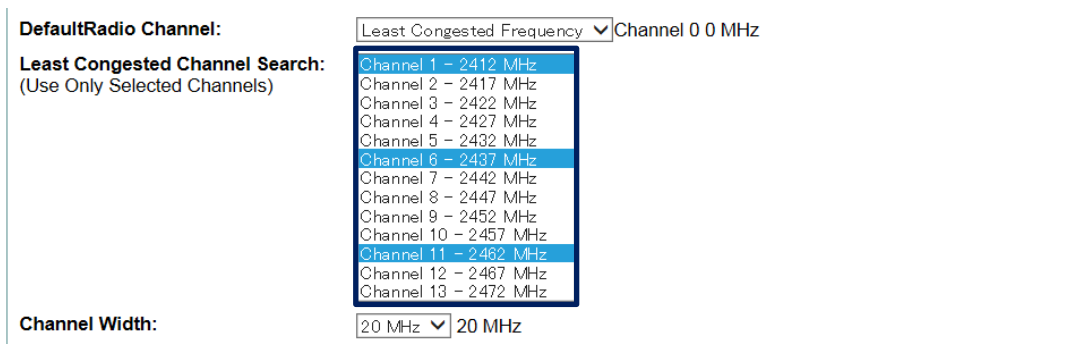
Current Status (Software/Hardware): Disabled ↓ Down ↓

Role in Radio Network:

- ☐ Access Point
- ☒ Access Point (Fallback to Radio Shutdown)
- ☐ Access Point (Fallback to Repeater)
- ☐ Repeater
- ☐ Root Bridge
- ☐ Non-Root Bridge

図 19 Radio0-802.11N(2.4GHz)設定画面(上部)

(18) 「Least Congested Channel Search:」を「Channel 1 – 2412 MHz」、「Channel 6 – 2437 MHz」、「Channel 11 – 2462 MHz」のみを選択します。選択するときは、キーボードの Ctrl キーを押しながら行います。



DefaultRadio Channel: Least Congested Frequency Channel 0 0 MHz

Least Congested Channel Search:
(Use Only Selected Channels)

- ☒ Channel 1 – 2412 MHz
- ☐ Channel 2 – 2417 MHz
- ☐ Channel 3 – 2422 MHz
- ☐ Channel 4 – 2427 MHz
- ☐ Channel 5 – 2432 MHz
- ☒ Channel 6 – 2437 MHz
- ☐ Channel 7 – 2442 MHz
- ☐ Channel 8 – 2447 MHz
- ☐ Channel 9 – 2452 MHz
- ☐ Channel 10 – 2457 MHz
- ☒ Channel 11 – 2462 MHz
- ☐ Channel 12 – 2467 MHz
- ☐ Channel 13 – 2472 MHz

Channel Width: 20 MHz 20 MHz

図 20 Radio0-802.11N(2.4GHz)設定画面(中)



(19) 「Apply」を押します。

Root Parent Timeout:	<input type="text" value="0"/>	(0-65535 sec)
Root Parent MAC 1 (optional):	<input type="text"/>	(HHHH.HHHH.HHHH)
Root Parent MAC 2 (optional):	<input type="text"/>	(HHHH.HHHH.HHHH)
Root Parent MAC 3 (optional):	<input type="text"/>	(HHHH.HHHH.HHHH)
Root Parent MAC 4 (optional):	<input type="text"/>	(HHHH.HHHH.HHHH)

Close Window Copyright (c) 1992-2015 by Cisco Systems, Inc

図 21 Radio0-802.11N(2.4GHz)設定画面(下部)

(20) WARNIG メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われ、2.4GHz の無線が有効になります。

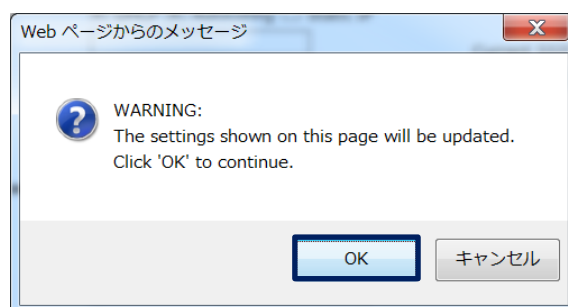
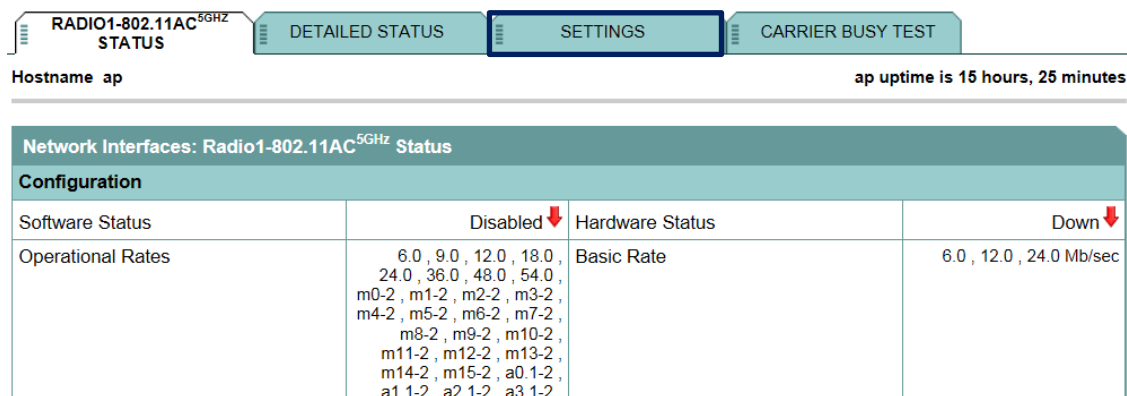


図 22 WARNIG メッセージ



(21) 左側の「Radio0-802.11AC 5GHz」を左クリックして画面を推移します。

(22) 「SETTINGS」のタグを左クリックします。

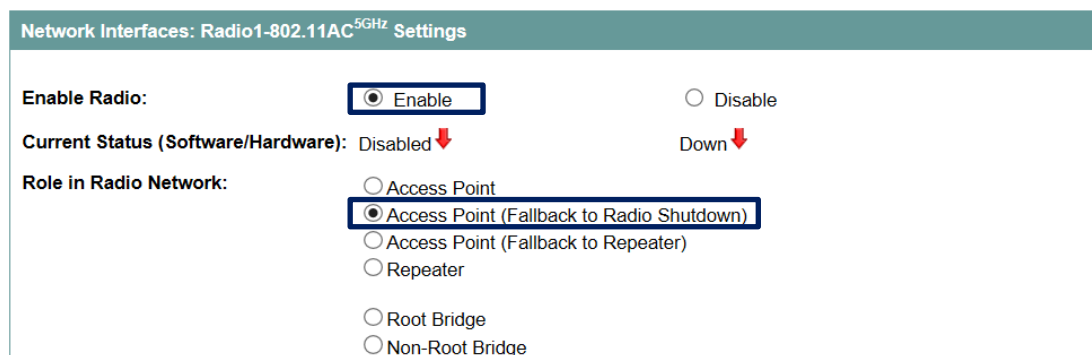


Network Interfaces: Radio1-802.11AC ^{5GHz} Status			
Configuration			
Software Status	Disabled ↓	Hardware Status	Down ↓
Operational Rates	6.0, 9.0, 12.0, 18.0, 24.0, 36.0, 48.0, 54.0, m0-2, m1-2, m2-2, m3-2, m4-2, m5-2, m6-2, m7-2, m8-2, m9-2, m10-2, m11-2, m12-2, m13-2, m14-2, m15-2, a0.1-2, a1.1-2, a2.1-2, a3.1-2,	Basic Rate	6.0, 12.0, 24.0 Mb/sec

図 23 5GH 設定画面推移

(23) 「Enable Radio :」の「Enable」を選択します。

(24) 「Role in Radio Network:」の「Access Point(Fallback to Radio Shutdown)」を選択します。



Network Interfaces: Radio1-802.11AC^{5GHz} Settings

Enable Radio: ☒ Enable ☐ Disable

Current Status (Software/Hardware): Disabled ↓ Down ↓

Role in Radio Network:

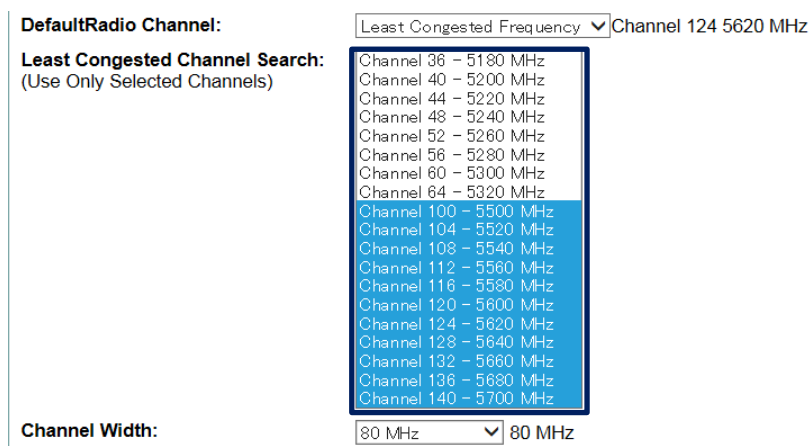
- ☐ Access Point
- ☒ Access Point (Fallback to Radio Shutdown)
- ☐ Access Point (Fallback to Repeater)
- ☐ Repeater
- ☐ Root Bridge
- ☐ Non-Root Bridge

図 24 Radio1-802.11N(5GHz)設定画面(上部)



(25) 屋内で利用する場合、「Least Congested Channel Search:」を全て選択します。屋外で利用する場合、「Channel 36 - 5180 MHz」から「Channel 64 - 5320 MHz」までのチェックを外します。

選択するときは、キーボードの Ctrl キーを押しながら行います。



DefaultRadio Channel: Least Congested Frequency Channel 124 5620 MHz

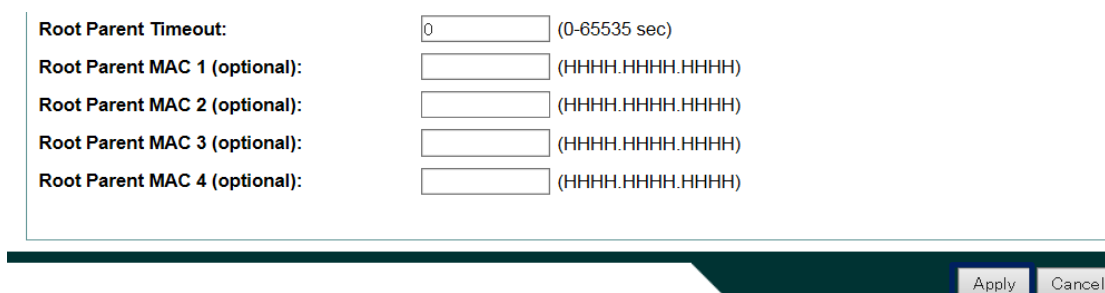
Least Congested Channel Search:
(Use Only Selected Channels)

- Channel 36 - 5180 MHz
- Channel 40 - 5200 MHz
- Channel 44 - 5220 MHz
- Channel 48 - 5240 MHz
- Channel 52 - 5260 MHz
- Channel 56 - 5280 MHz
- Channel 60 - 5300 MHz
- Channel 64 - 5320 MHz
- Channel 100 - 5500 MHz
- Channel 104 - 5520 MHz
- Channel 108 - 5540 MHz
- Channel 112 - 5560 MHz
- Channel 116 - 5580 MHz
- Channel 120 - 5600 MHz
- Channel 124 - 5620 MHz
- Channel 128 - 5640 MHz
- Channel 132 - 5660 MHz
- Channel 136 - 5680 MHz
- Channel 140 - 5700 MHz

Channel Width: 80 MHz 80 MHz

図 25 Radio1-802.11N(5GHz)設定画面(中)

(26) 「Apply」を押します。



Root Parent Timeout: 0 (0-65535 sec)

Root Parent MAC 1 (optional): (HHHH.HHHH.HHHH)

Root Parent MAC 2 (optional): (HHHH.HHHH.HHHH)

Root Parent MAC 3 (optional): (HHHH.HHHH.HHHH)

Root Parent MAC 4 (optional): (HHHH.HHHH.HHHH)

Apply Cancel

Close Window Copyright (c) 1992-2015 by Cisco Systems, Inc

図 26 Radio1-802.11N(5GHz)設定画面(下部)



(27) WARNIG メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われ、5GHz の無線が有効になります。

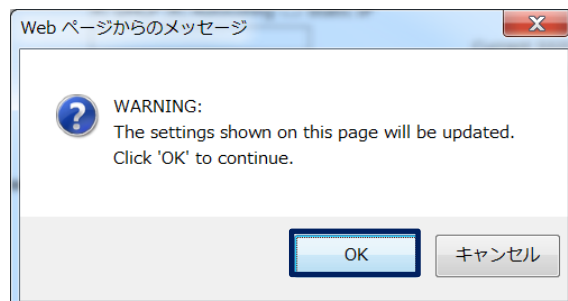


図 27 WARNIG メッセージ

(28) 管理用 PC の LAN ケーブルを抜きます。

(29) Windows のタスクバーの通知領域のネットワークアイコンを左クリックして、SSID 一覧を表示します。

(30) 設定した SSID を選択します。



図 28 Windows 7 無線接続画面



(31) セキュリティーキーを聞かれたら、Cisco Aironet 1700 に設定した PSK を入力して、OK を押す。

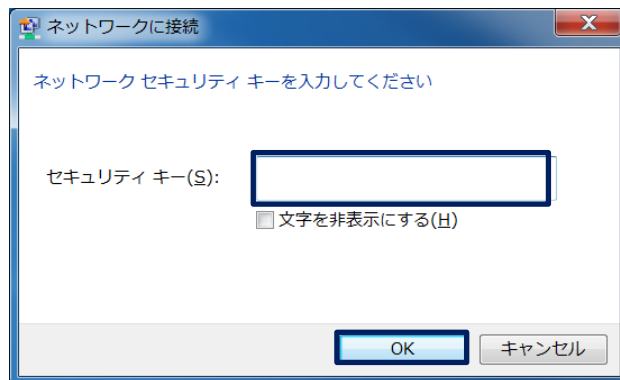


図 29 Windows7 無線接続画面

(32) 確認用 PC からインターネットにアクセスし動作確認を行う。



5. Cisco Aironet 1700 設定変更

本章では、自律モードで設定済みの Cisco Aironet 1700 に対してパスワードなどの基本的な設定を変更する方法について説明します。

5.1 Web ログインパスワードの変更(WEB GUI)

本節では、Web ログインと CLI の特権モードに切り替えに使用するパスワードを変更する方法について説明します。

- (1) WEB GUI にアクセスして、上部の「SECURITY」左側の「Admin Access」の順に左クリックをして画面を推移します。
- (2) 「Default Authentication (Global Password)」内部の、「Default Authentication Password:」と「Confirm A Authentication Password:」に変更後のパスワードを入力します。
- (3) 「Default Authentication (Global Password)」の「Apply」を押します。

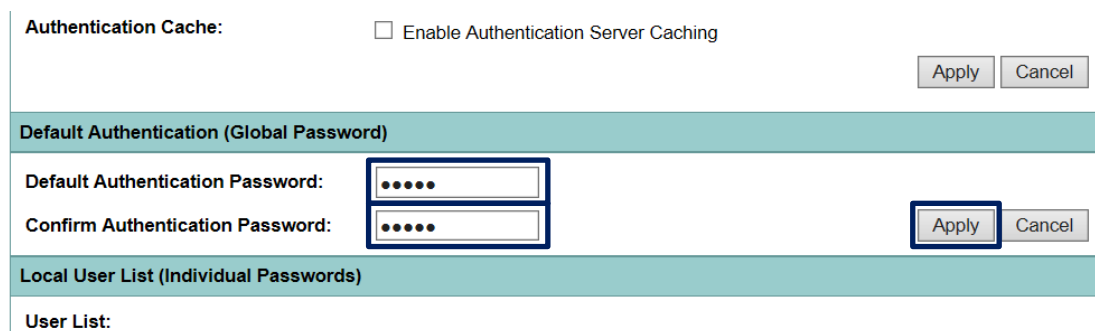


図 30 Default Authentication Global Password 設定画面



(4) WARNING メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われ、5GHz の無線が有効になります。

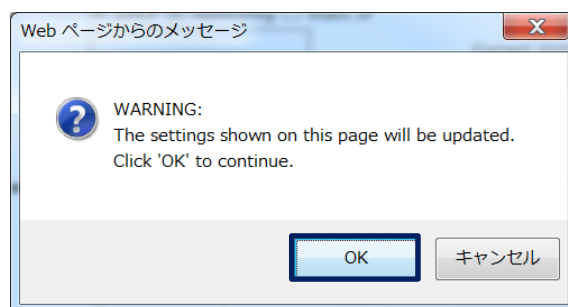


図 31 WARNING メッセージ

5.2 無線 LAN Pre Shared key の変更

本節では、無線 LAN の Pre Shared key の値を変更する方法を説明します。

- (1) WEB GUI にアクセスして、上部の「SECURITY」左側の「SSID Manager」の順に左クリックをして画面を推移します。
- (2) 「SSID Properties」内部の、「Current SSID List」から、現在使用している SSID 名を選択します。

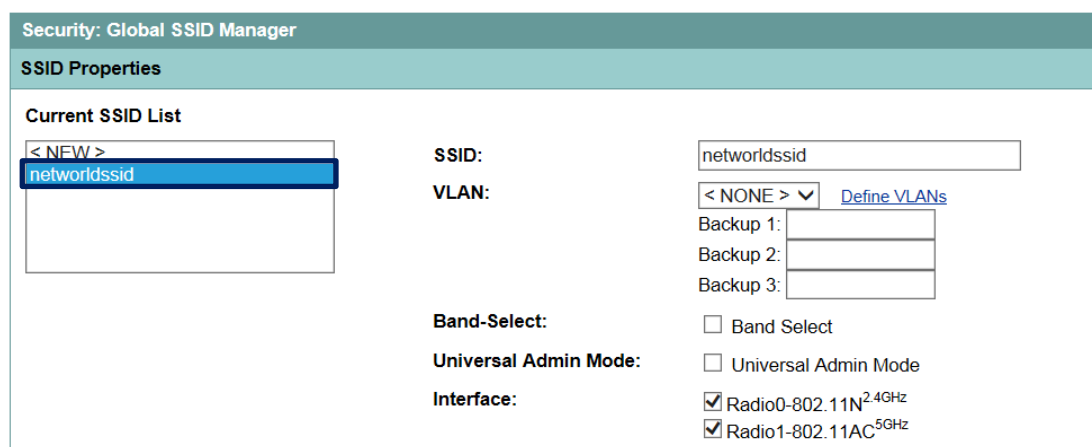
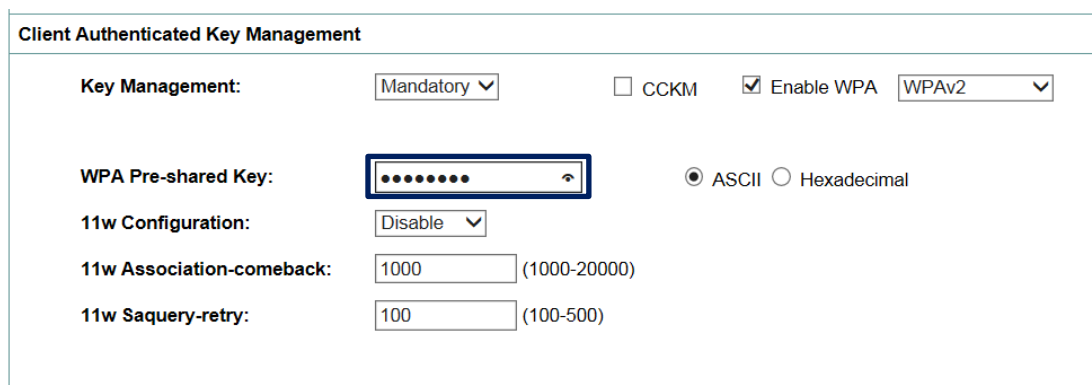


図 32 SSID 設定画面(上部)



(3) 「WPA Pre-shared Key」に変更後の値を入力します。



Client Authenticated Key Management

Key Management: Mandatory ☐ CCKM ☒ Enable WPA WPAv2

WPA Pre-shared Key: [Redacted] ASCII ☒ Hexadecimal ☐

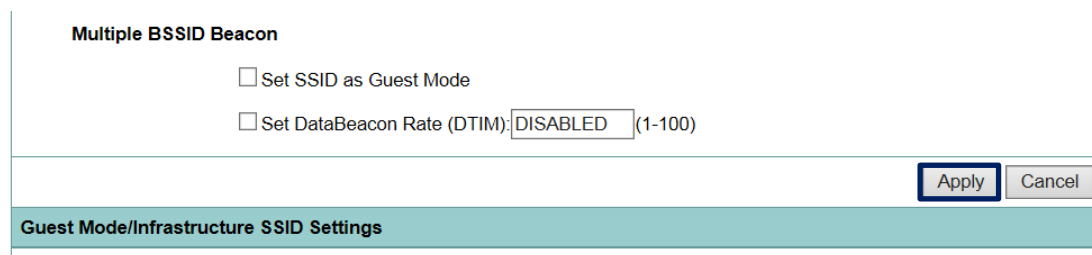
11w Configuration: Disable

11w Association-comeback: 1000 (1000-20000)

11w Saquery-retry: 100 (100-500)

図 33 SSID 設定画面(中)

(33) 「SSID Properties」の「Apply」を押します。



Multiple BSSID Beacon

☐ Set SSID as Guest Mode

☐ Set DataBeacon Rate (DTIM): DISABLED (1-100)

Apply Cancel

Guest Mode/Infrastructure SSID Settings

図 34 SSID 設定画面(下部)

(4) WARNIG メッセージが表示されたら、「OK」を押します。設定の反映と保存が行われ、5GHz の無線が有効になります。

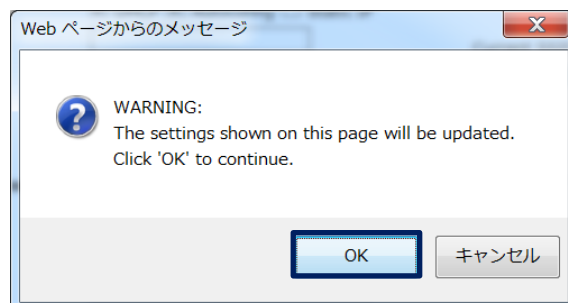


図 35 WARNING メッセージ

お問い合わせ

Q 製品のご購入に関するお問い合わせ

<https://info-networld.smartseminar.jp/public/application/add/152>

Q ご購入後の製品導入に関するお問い合わせ

弊社担当営業にご連絡ください。

Q 製品の保守に関するお問い合わせ

保守開始案内に記載されている連絡先にご連絡ください。

本書に記載されているロゴ、会社名、製品名、サービス名は、一般に各社の登録商標または商標です。
本書では、®、™、©マークを省略しています。

www.networld.co.jp

株式会社ネットワールド

